

<令和6年8月定例記者会見>

1 開催日時

令和6年8月8日（木）午前10時30分～午前11時00分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビ、岩手日報社

4 発表事項

(1) 「滝祭2024 (TAKI-SAI)」の開催について（観光物産課）

「滝沢市産業まつり」及び「滝沢市商工会まつり」の共同イベント「滝祭」を8月24日（土）、25日（日）の両日、ビッグルーフ滝沢を会場に開催いたします。

滝沢市内の美味しいものを集めた「飲食コーナー」、高所作業車などの「体験コーナー」やステージイベントなど、お楽しみいただける催しが盛り沢山です。

また、大ホールでは地元の大学生有志が企画準備をした「滝沢ユースフェス」もあり、学生団体のワークショップや活動展示などがあります。24日（土）19:00からは花火の打ち上げを行う予定です。

8月24日（土）、25日（日）の2日間は、「滝祭2024 (TAKI-SAI)」へ、足をお運びくださいますようお願いいたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(2) 滝沢りんごワイン「ポム ライト」の販売について（観光物産課）

株式会社岩手くずまきワイン様から、滝沢市産りんご100%使用のりんごワイン「ポム ライト」が新発売されます。

りんご果汁をふんだんにブレンドし、アルコール度数4%と低アルコールのワインに仕上がりました。絶賛販売中のアルコール度数8%滝沢りんごワイン「ポム」に比べ、より一層ライトでフルーティーな味わいとなっております。

すでにラインナップしている「ポム」、「ポム シードル」と飲み比べていただき、滝沢りんごワインをお楽しみください。

8月1日（木）にビッグルーフ滝沢をはじめフェザン地下プローストなどで販売を開始しております。9月1日（日）からは市内スーパーなどのお酒売り場で販売しますので、是非皆さんお買い求めください。

(3) 滝沢市の特産品開発振興事業補助金を活用したスイカゼリードリンクの販売について（観光物産課）

滝沢産業開発株式会社より「滝沢市特産品開発振興事業補助金」を活用した特産品となる「スイカゼリードリンク」を、8月1日よりビッグルーフ滝沢の「滝沢キッチン」にて販売しておりますので、ご紹介いたします。

たっぷりのスイカ果汁とスイカ酢を使用し、スイカ由来のミネラル成分や塩分も含まれ、酸味はスイカから作られたスイカ酢のみを使い、夏にぴったりの爽やかな風味に仕上がっています。熱中症予防（対策）におすすめです。

スイカ酢に含まれる酢酸菌は、免疫機能の活性化などの効果も期待されます。果汁もスイカ酢も滝沢市産のスイカ果汁が使用されており、一年を通しての体調管理にオススメです。

価格は、1個で税込490円となっており、8月11日の滝沢スイカまつり当日も滝沢キッチンにて販売する予定です。凍らせても美味しいですので、ぜひ、お召し上がりください。

(4)「オレンジフェスタ2024」の開催について（地域包括支援センター）

認知症はだれもがなり得るものであり、高齢化が進む中で、認知症の人とその家族が、住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できる地域づくりを目指して、認知症の正しい知識の普及と理解を深めることを目的とし、8月31日（土）に、滝沢ふるさと交流館において、「オレンジフェスタ2024」を開催します。

午前中は、認知症カフェや認知症VR体験と、連携協定を結んでいる明治安田生命様のご協力による健康測定会を実施します。

午後は、滝沢市長による「認知症の人とその家族にやさしいまち・たきざわ」の宣言を行い、その後、NPO法人やまぼうしネットワークとの共催による講演・座談会を行います。講演・座談会は「認知症ってなんだろう？とかげのアンソニーと一緒に考えてみませんか」と題し、ひまわりメンタルクリニック院長小林博子先生を講師にお迎えします。

子どもから大人まで参加していただける内容となっておりますので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

なお、VR体験会と、宣言・講演・座談会は事前予約が必要となりますので、市包括支援センターにお申込みをお願いします。

(5) 滝沢市クアオルト健康ウォーキングに関するクアの道認定式典及び体験会の開催について（健康づくり課）

滝沢市クアオルト健康ウォーキングに関するクアの道認定式典及び体験会を実施しますのでお知らせします。

ドイツのクアオルト、これは療養地を意味します。このクアオルトで行われる運動療法「気候性地形療法®」を基本に、日本の環境に適合させた健康づくりの手法がクアオルト健康ウォーキングです。

この度、本市では鞍掛山の麓に専門コース「クアの道：鞍掛・相の沢コース」を整備し、認定を受けます。合わせて、クアオルト健康ウォーキングに必要な専門ガイドを今年度内に3人養成します。これに伴い、クアの道の認定式典とクアオルト健康ウォーキング体験会を開催します。

開催日は9月7日（土）9時からを予定しています。認定式典終了後に市民の皆さんを対象に体験会を実施します。岩手県内での「クアの道」は、北上市の民間企業が整備したコースと合わせ、3コースとなります。

本市では、昨年度認定を受けた「滝沢総合公園コース」を活用して月2回程度、クアオルト健康ウォーキングを開催しています。認定後は、「鞍掛・相の沢コース」でも実施

予定です。市民の皆さんには、ぜひ参加していただきたいと考えております。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：滝祭での花火の打ち上げについて協賛金を募るとのことですが、現状何発の花火を打ち上げる予定ですか。

観光物産課長：数の予定というのは現状ありません。

記者：まとめて打ち上がるイメージでよろしいですか。

観光物産課長：そうです。打ち上げる数の想定は難しいですが、昨年であれば時間にして10分ほどでした。今年は倍の20分くらいは上げたいなという思いはあります。

市長：市内に花火を作っている製造会社もあるので、そういったことを市民の皆さんに知ってもらうということも併せてできたらいいなと思っています。

記者：今年ならではの部分は何かありますか。

市長：未確認ではありますが、滝祭にはいつも自衛隊の皆さんにも参加いただいているのですが、今年は戦車（キャタピラではなく6輪のもの）をもってこれないか、市商工会から打診しているようですので、子どもたちやファンの方はよろこんでくれるのではないかと思います。

経済産業部長：滝祭の中で大学生有志による「滝沢ユースフェス」の開催と、福祉部門の「赤ちゃんハイハイ・ヨチヨチコンクール」を復活させることに合わせて、市の強みである学生にも協力いただきながら、子育てなどへの支援にもつながるようなブースなどができればいいなということで、検討中です。

市長：岩手ビッグブルズのチアの皆さんも来てくれます。

記者：スイカゼリードリンクについてですが、開発元は産業開発株式会社でよろしいですか。

副市長：そうです。浅沼醤油店さんと共同開発したものです。

記者：オレンジフェスタについてですが、いわゆる「チームオレンジ」からきているイベント名だと思いますが、滝沢市内にチームオレンジはあるのですか。

地域包括支援センター所長：立ち上げをしています。

記者：1チームでよろしいですか。

地域包括支援センター所長：そうです。

記者：名前は「チームオレンジたきざわ」でよろしいですか。

地域包括支援センター所長：そうです。

記者：オレンジフェスタは初開催ですか。

地域包括支援センター所長：認知症の普及・啓発イベント自体は令和元年度から実施していたのですが、コロナ禍もあり2年ほど開催できなかった時期がありました。令和4年度から再開して、今年度も実施するものです。

記者：市長による宣言とありますが、こういったイメージのものですか。

市長：認知症は誰もがなりうるものです。その時に、認知症であることを隠すのではなくて、地域の方も一緒になって見守っていたり、地域の皆さんにも認知症について理解を深めてもらい、お互いがお互いを助け合うという雰囲気を作っていければいいなと思っています。認知症や健康づくりについて理解を深めてもらうこと、またひまわ

りメンタルクリニックの小林先生の「とかげのアンソニー」のお話は子どもから大人まで各世代の皆さんに聞きごたえのあるものとなっているので、世代を問わず様々な皆さんに聞いていただきたいと思います。

地域包括支援センター所長：これまでもチームオレンジの取り組みや、スローショッピング、地域での認知症サポーターの養成など、市としても認知症に対する取り組みを積極的に進めてきました。取り組みについて、市民の皆さんにより理解いただけるように、宣言という形でお知らせ、発表をするものです。

記者：クアオルトの新しいコースについて、認定を受けるのはいつですか。この9月のイベントより前に認定を受けるものですか。9月に認定式を開催するのですか。

健康づくり課長：9月7日の認定式典の際に、日本クアオルト研究所から同日付で認定いただきます。

記者：新しいコースの長さはどれくらいですか。

健康づくり課長：全長約2.7kmです。

記者：従前の滝沢総合公園コースは何kmですか。

健康づくり課長：約3.2kmになります。

記者：県内だと北上に1コース、滝沢に2コースとなると思いますが、滝沢市がクアオルト健康ウォーキングに組み始めたいきっかけを教えてください。

健康づくり課長：前の総合計画（第1次総合計画の後期基本計画）の中で、健康づくりに関する新たな取り組みを調査・研究し、ウォーキングに特化した健康づくりを始めようという方針を立てた際に先進事例を調べました。結果として、地域の自然環境などを活かしたクアオルト健康ウォーキングにたどり着き、調査研究を重ねて、本市の場合は中心部に近い総合公園と、自然豊かなコースが作れるのではということで2コースの認定に至ります。

記者：滝沢総合公園コースは稼働中だと思いますが、月2回の健康ウォーキング以外にも、一般の市民の方などが来てもルートなどは分かれますか。看板やパンフレットなどがありますか。

健康づくり課長：コースには看板を整備して設置してあります。しかし、正しいクアオルト健康ウォーキングを体験していただくためには、一度ガイドと一緒に歩いていただければと思います。専門ガイドが正しい方法で正しいルートを案内するというのが月2回の開催です。1回体験していただければ、以降はコースについては案内看板を見ながら歩くこともできますので、1回は専門ガイド付きのタイミングで体験をした後に、自由にコースを歩いていただくのがいいかと思います。職員で歩いている人もたくさんいます。

市長：私もスマホアプリを活用し、1日8000歩を目標にやっていますが、なかなか意識しないと達成できないもので、歩数以外にもいろんなことを意識して歩くようになりました。何より、健康は自分で意識をして取り組まなければならないものだと思います。ただ歩くのではなく、歩く基本的な動作に加え、心拍数など自分の体の調子をしっかり管理しながら気軽に自然の中を歩けるというのは、良いなと感じています。

6 その他記者からの当日質問

記者：毎月お聞きしているところですが、ビッグループ前の商業施設について、何か進展はありましたか。

市長：情報をお出しできるようになるまでは、もう少しかかりそうです。

記者：民間業者から計画案のようなものは示されているのですか。

市長：お互いに情報交換をしながら、逐次報告を受けているところです。民間の開発ですので、活力に期待しながら、結果を待っている状況です。

記者：2025年のオープンという計画は変わらずですか。

副市長：そうです。造成や河川の切り回し、道路などは計画通り進んでいます。

記者：先日大雨で市道が崩落したとあったと思いますが、応急処置は終了しましたか。

副市長：仮復旧はして、通行できるような状態にはなっています。今後補正予算等を取りながら、復旧への準備を進めていきます。生活に支障はない形にはなっています。